

NUMATA

2017.04.27 Vol.608
広報ぬまた 4月号



4/7
沼田小学校入学式

平成29年度町政執行方針概要

未来の「ぬまたに暮らす人たち」が 笑顔で暮らせる新しいマチの姿を！

平成23年の町長就任以来、「町民参加のまちづくり」「今住んでいる人を大切にする」とを町制運営の基本に据えて、町民の皆様からの大きな期待を励みとして、町民の皆様の声と意見をできうる限り真摯に行政運営に反映し、第5次沼田町総合計画の目標達成に向け、全力で取り組んでまいりました。

これまでの行政運営に対し、ご指導とご支援を賜りました議員各位並びに町民の皆様深く感謝申し上げます。



3月10日～17日に開催された第1回議会定例会で、金平町長が平成29年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

日本の経済状況は、長引くデフレスパイラルからの脱却に向け、大規模な財政出動に加え、「マイナスイ金利政策」の導入など、デフレ脱却はシナリオ通りには進まず、2%の物価上昇目標も18年頃として先送りとなりました。

国内の雇用環境においては、有効求人倍率は昨年、90年代初頭の状態まで回復しておりますが、消費拡大を狙った賃金上昇も伸び率が鈍化している状態にあります。

日本の将来展望を思考しますと、

人口減少社会においては市場・経済規模の縮小は、生活関連サービスの立地に必要な人口規模を割り込むこととなり、税収の低下や地域からサービス産業が撤退し、日々の生活が不便になる恐れと雇用機会の減少につながり、地方の人手不足を生み出します。

沼田町においても、人口ビジョンの目標数値である3217人を割り込んでおりますが、昨年策定いたしました総合戦略と併せて、沼田町第5次総合計画の後期計画の達成に向け取り組んでまいります。

平成29年度においては、沼田町農村型コンパクトエコタウン構想の中心的施設である、地域密着多機能型総合センターと商業コミュニティ中核施設が完成することから、「全世代の切れ目のない包括的な支援に向けた施設の効果的な運用と事業の展開」を行政運営の中心に位置づけ、施設の効果的な利用と事業に取り組んでまいります。

もう一つは、「人口の確保」を政策コンセプトとして、既存事業の見直しと、新規事業を加えることで施策に厚みを持たせ、効果を高めるように施策を展開してまいります。

★町政執行の重点戦略について

現在進行中の「第5次沼田町総合計画後期基本計画」「沼田町人口ビジョン」「沼田町総合戦略」また、その中心でもある「地域再生計画」「沼田町農村型コンパクトエ」タウン構想」に基づき、住民主体のまちづくりに向けて各種事業に取り組んでまいります。

また、沼田町総合戦略の中間年度もあり、十分な検証を行うとともに、PDCAサイクルによる検証を行い、より効果的な事業の推進を図ります。

特に国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、地域資源を活かした「稼ぐ力」の向上や、ライフスタイルを見つめなおし「郷土への誇り、愛着を醸成」することなどが加わり、より一層産学官金労言民の地域が一体となることが求めら

れていることから、オール沼田町で目標に向かって事業を推進してまいりますので、議員各位をはじめ町民皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成29年度の政策予算につきましては、人口ビジョンの目標人口3217人の達成に向けた移住者獲得プランに重点を置いて各種の戦略を進めるとともに、この町での住心地を向上させる取り組みを行うことで、慢性的な転出超過の改善に向け取り組んでまいります。

★安心して暮らしやすいまちづくり

【歩いて暮らせる

まちづくりの実現】

○農村型「コンパクトエ」タウン構想について

本年度完成する医療・福祉・介護の複合施設である地域密着多機能型総合センターと一体となって、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちを目指し、「高齢者の安心な暮らし」を支えるための住環境など複合的な施設やソフトについ

て、必要な機能・設備や基本的なレイアウト、内外のデザイン等について検討を行ってまいります。

○地域密着多機能型総合センターの整備について

診療所、デイサービスセンター、地域あんしんセンターの施設が一体となった「地域密着多機能型総合センター（暮らしの安心センター）」については、診療所部分が28年度中に完成し、外構工事終了後、7月3日にオープンする予定であります。

また、10月にはデイサービスセンターと地域あんしんセンター部分が完成し、施設全体のグランドオープンとなります。

地域医療・福祉・介護、健康づくりの拠点として、全世代の町民が利用できる事業展開を図ってまいります。

【安心できる福祉

・医療・保健の充実】

○地域医療体制の充実について

平成28年度から町立の診療所としてスタートいたしました町立沼田厚

生クリニックは、新施設でのオープンに向けて準備を進めております。新しい施設と医療機器等の整備によって、良好な医療環境が整うことで、一層、町民の暮らしに寄り添う診療所として、「防ぐ（予防）」「支える（在宅医療）」をコンセプトに北海道厚生連と連携しながら、地域医療を守ってまいります。

○健康づくりの推進について

「私の健康が創る沼田の未来」をスローガンとして、「運動」や「食育」を柱とした健康の維持増進を図るための事業として、10月にオープン予定の「あんしんセンター」において、誰でも気軽に利用できる健康教育、個別の健康相談を行う「暮らしの保健室」を月2回程度実施することで、生活習慣病の悪化予防や健康不安の解消へつなげてまいります。

町立沼田厚生クリニックに高性能CTが導入され、肺がん検査が可能となることから、肺がんの早期発見、早期治療を図るため、肺がん検診の費用についても一部助成することといたしております。

なお、引き続き町民の皆様には、各種健康事業への参加や特定健診、

平成29年度 町政執行方針概要

各種がん検診の受診勧奨に努めてまいります。

○子育て支援の充実について

子育て世帯の負担軽減を図るため、平成27年度から実施いたしております「子育て世帯暖房費助成事業」を継続するとともに、任意予防接種であります「B型肝炎ワクチン」など3種のワクチンの小児予防接種の助成に、引き続き取り組んでまいります。

産後の子育てをより安心して行えるよう、新生児訪問時の助産師による、母乳育児指導につきましましては、本年度からは医療機関が行う育児相談サロンを利用した場合の費用助成及び交通費の助成に変更し、回数を制限せず育児不安の軽減を図ってまいります。

○高齢者福祉・介護の充実について

高齢者が安心して暮らせるよう、生活の支援事業や介護予防事業に継続して取り組んでまいります。

介護保険法の改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業が平成29年4月から実施となり、高齢者サロン事業など住民等が主体となつて支援する、地域の支えあい体制を推進することで、一部のサービスを総合事業へ移行し、要支援1及び2に該当する方々には、現行の通所型サービスや訪問型サービスを提供してまいります。

地域密着多機能型総合センターに設置する、デイサービスセンターにつきましましては、介護保険法による通所サービス事業に加え介護予防事業として実施しております生きがい活動支援通所事業（生きがいデイサービス）にも活用し、総合通所サービスセンターとして、将来にわたり、安心して暮らし続けることができる町民の憩いの場となるよう、施設運営の指定管理者である沼田町社会福祉協議会と連携して取り組んでまいります。

【住み良い生活基盤の確保】

○移住・定住の推進について

平成28年4月に移住定住応援室を設置し、その推進に努めてまいりました。

「田舎暮らし」「豊かな生活」を求めて地方への移住ブームが起きていますが、近年では地方から都市への人口流出の傾向が再び強まっております。

しかしながら、人口の社会増を実現した地方の自治体ではその傾向が見られず、「選ばれる地域」が生き残っている現状があることから、選ばれる地域になるため「移住定住プランディング戦略事業」、移住希望者へ沼田町の魅力を発信するために道内外で開催される「移住フェア」などへの参加、移住を検討される方へ「ちよつと暮らし」を展開するために、昨年度、北海道厚生連から譲り受けた移住お試し住宅「レジデンヌぬまた」の改修に要する予算を計上し、積極的に取り組んでまいります。

また、昨年度総務省の地方創生加算交付金の採択を受け実施した、

空き家再生案見える化事業を展開していくため「住んで快適暮らし満足移住定住応援奨励金」制度を拡充し、中古住宅購入とリノベーションを推進することに加えて、若い世代の町内への移住定住を促進するために、民間賃貸住宅の家賃を助成する予算を計上いたしております。

○JR留萌線について

昨年11月に発表された、「JR北海道単独では維持困難な線区」の中で、留萌線についてはバス等への転換について、地域と相談を開始したとの申し入れがありました。更に、この発表を受け「鉄道ネットワークワーキングチーム」において検討された報告書が2月7日に発表されました。当初から、個別の線区についての議論はしないとされており、鉄道網のあり方を6つに分類し、関係者の役割を示しておりますが、いずれも大動脈の必要性に重きを置いた、大筋の理論でまとめられ、留萌線など輸送密度の低い路線にとつて、きわめて厳しい報告書となっております。

北空知においては、1市4町の行政に議会、商工会、JAが参画した

検討会議を立ち上げ、国に対して責任のあり方と支援を求め地域としての考えを明確にすることを確認いたしました。沿線自治体の考え方が異なれば、協議自体が成り立たなくなり一方的な結論につながりかねません。3月に予定しております、まちづくり懇談会などで町民の皆様の意見も充分にうかがい、利便性の確保と将来利益の損失とならないよう、公共交通機関の役割、在り方に対応してまいりたいと考えております。

★活力あるまちづくり

○農業の振興について

昨年は、天候不順や台風被害などにより、道内の農産物にも大きな影響を与えたところでありますが、本町においては水稲が6年連続となる豊作により、販売額においても良好な結果となり、関係者の努力に敬意を表す次第であります。

しかし、平成30年度より国の農業政策の根幹であった転作制度が廃止転換されることが決定されているものの、未だ新たな対策等が見通せない状況であります。国内外に打ち

勝てる強い農業を早期に確立していく必要があります。

本町といたしましても、第9次農業振興計画に掲げる「担い手確保対策」「経営体の育成」「農業所得向上対策」「経営の安定対策」「低コスト化対策」等を柱に、様々な課題を解決するため、農業総合対策室を核とし実施するために必要な経費を予算計上いたしております。

また、平成28年度国の補正予算において補助採択を受けた、スノークールライسفアクトリー色彩選別機の導入事業が完了したことから、今まで以上の良質米出荷が可能となり、農業所得の向上に繋がることに期待をしております。

○商工業の振興について

昨年からは、沼田町商工会・JA北いぶき・沼田町との協議のもと「株式会社まちづくりぬまた」において建設を進めてまいりました商業コミュニティ中核施設も間もなく完成する運びとなっております。本施設の中核テナントとなる「株式会社道北アークス」との細部調整が整い、去る2月15日に本契約を締結いたしました。

新年度においては4月末に仮オープンを行い、JA支所解体工事後、外構工事が完成となる秋頃(10月)にグランドオープン出来るよう所要額を予算計上いたしております。

また、新年度より「株式会社まちづくりぬまた」に観光協会機能を兼ね備えた体制で物販事業なども行うこととしており、地域おこし協力隊員(観光支援員)を増員することといたしております。

中核施設オープンを契機に、地元商工業者も一体となって魅力あるまちづくりと、町内外からの来訪者を誘引できるような、商業環境の活性化に結び付けられるよう「ひと・まち・しごと育成支援事業」や「中小企業経営安定化維持・商店街活性化事業」などの予算を有効活用していただきながら地域商業環境の活性化を図ってまいります。

また、新たな取り組みとして、地域おこし協力隊員として飲食店支援員を募集し、町内飲食店の事業継承や新規商品開発などに取り組んでまいります。

私たちの祖先が、120年あまりの時をかけ築き上げた街並みに、これからの町民の日々の暮らしを支え

る新たな施設が完成いたします。

人口目標を達成することは、容易なことではありませんが、将来に備えて、打つべき手は何であるか、将来に亘って住み続ける事のできる町を目指して、町民の皆様との対話と相互理解を深め、活気あふれる沼田町を作り上げてまいりたいと考えております。

そのためには、役場職員一人ひとりが夢とビジョンを持つこと、町民と職員が一丸となって知恵を出し、協力し、情報を共有し合うことが必要と考えております。

そして、私は、町長として、その先頭に立って職責を果たしてまいりたいと考えております。

町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。平成29年度の町政執行方針といたします。

「沼田ならだけではの希望に満ちた

豊かな学びの実現」

現在、教育を取り巻く環境は、少子化の進行や知識基盤社会（新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会）への移行、急速な情報化の進展や価値観の多様化など、大きく変化しています。こうした中、これからの学校は、教職員の資質・能力の向上に加え、学校がこれまで以上に組織的に取り組むことが必要とされています。



3月10日～17日に開催された第1回議会定例会で、吉田教育長が平成29年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

近年、急激な少子高齢化が進行し、グローバル化の進展に伴う国際競争が激化する中で、我が国が将来にわたり成長・発展し、一人一人の豊かな人生を実現するため、新たな価値を創造し国際的に活躍できる人材や、多様な文化に親しみ価値観を受容し共生していくことができる人材の育成が求められております。

変化の激しい社会の中で、生き抜く子供を育成するためには、時代の変化に対応して、子供に様々な力を身につけさせることが必要であり、

子供が自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の充実など、授業革新を図っていくことが予想され、教育内容や学習活動の量的・質的充実への対応にとどまらず様々な教育課題への対応が求められております。

さらに、いじめ・不登校対策、生活習慣等の課題解決に向け、学校・家庭・地域との連携強化が重要であります。

また、人口減少の進む中でも、一億総活躍社会を実現し、成長と分配の好循環を生み出すためには、女性や高齢者の活躍が不可欠であります。長寿化の進展により、刻々と変化する社会に対応していくためには、必要な知識と技能を身につけていくことが求められ、年齢や性別にかかわらず、全ての人が継続して学習やスポーツに親しむことができる環境づくりが必要であり、それらを担う社会教育の役割が一層重要になってきております。

我が町が、持続的に発展して行くた

めには、教育の果たす役割が極めて大きく、教育委員会としてもより高い使命感を持って教育の充実に取り組み、沼田町総合教育計画の基本理念である「沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現」を目指して、各種施策の展開に鋭意努力してまいりたいと考えています。

★一貫・連携教育の推進

沼田町一貫・連携教育については、平成25年度～平成27年度の第1期を終え、引き続き28年度からの3年間を第2期と位置づけ、昨年度は小中乗り入れ授業や合同運動会を始めとする各種交流活動の取り組み等、これまで進めてきた研究成果を、26年度から道教委の指定を受けて進めて来た「小中連携・一貫教育実践事業」の最終年における成果の発表の場として、平成28年11月11日に公開研究大会を開催し、町内外の教育関係者の方々に見ていただくことができました。

新年度においては、平成30年4月予定の「沼田学園」開設準備の年と位置付け、教育環境の整備や、教育課程の整理、必要な体制づくりを進める他、「沼田ならではの学び」と

して新たに設定予定の「ふるさと沼田学習」ハローイングリッシュ(英会話)や、小学生の中学校登校の実施に向け、30年度からスムーズな移行が図られるよう最後の実践と検証を重ねてまいります。

また、家庭での生活・学習習慣の改善定着に向けた取り組みについては、保護者による「家庭地域部会」において精力的に進められており、少しずつ成果が見え始めているところです。今後においては、子ども達が家庭内で本に親しみながら親子の「コミュニケーション」を図る「家読」の推進や、テレビやゲームの時間設定、スマホール等の情報機器使用への対応も含めて、当部会との連携の下、更に努力を重ねてまいります。なお、これまでの実践研究活動の成果が顕著であるとして、昨年沼田小・中学校が「平成27年度空知管内教育実践表彰」に引き続き、過日「平成28年度北海道教育実践表彰」を頂きました。今後もこの事を大きな励みとしながら関係者一致協力の下、子ども達のより良い成長を目指してまいります。

★子ども達の健全育成について

沼田小学校に併設しております児童保育所「こどもつくる」については、放課後に保護者が仕事などで家庭が留守になる児童を対象に、児童保育を実施しております。

これまで4年生～6年生は、長期休業日と月1回の土曜日開所のみ受け入れをしていましたが、今年度より全就学児童が平日も含めて利用できることといたしました。あわせて、保育時間を保護者の勤務実態と合わせ、開所時刻・閉所時刻の見直しを行いました。また、「学童保育指導員」については、「放課後児童支援員」の資格を順次取得し、子ども達が安心して過ごせる居場所としての学童保育所を目指し、質の高い保育に努めると共に、今後も小学校との連携を深め、児童や保護者のニーズも把握しながら、「生きる力」、「学力・体力向上」にも繋がるよう推進していきます。

「子ども交流ひろば」については、子ども達の逞しさや社会性を育むばかりでなく、「子ども応援団」の参加協力の中で地域の教育力も高める場として、非常に有意義な取り組み

と考えております。今後も住民の皆様「こども応援団」への登録を呼び掛けつつ、多様な活動を展開しながら、子ども達のより良い成長を促してまいります。

また、家庭や地域の教育力向上に向け、地域や保護者の皆様を対象に「家庭教育講演会」、「親学講座」を開催する他、子ども達の見守りや声掛け、あいさつ運動等を展開して行くため、警察や防犯協会、自治振興協議会等の協力のもと、「沼田っ子サポーター」や「子ども110番の家」等との連携強化を図ってまいります。

加えて、最近活動が停滞傾向にある子ども会活動について、地域の実態を十分に把握し、今後の活性化に向けて検討していきます。

町民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。平成29年度における教育行政執行にあたっての所信と致します。

◆ 移住・定住を応援します ◆

■ 移住定住ブランディング戦略事業【新規】 ■

移住定住を推進する自治体の中で、競合する自治体との差別化を図るための「本質の明確化」と「独自のらしさ」を磨き上げるとともに、町民とともにブランディングを戦略的に行うことにより、魅力的な地域として移住希望者に「選ばれる地域」を目指します。

《事業概要》

- ・ Web ページ作成
- ・ 体験プログラムパンフ作成
- ・ 地域作成型 WebCM 作成
- ・ 移住情報小冊子作成
- ・ 移住定住 P R ポスター作成
- ・ 移住者交流事業（講話・交流会 など）

■ ヤング世代移住促進家賃助成事業【新規】 ■

本町へ移住を促す目的として、転入や結婚を機に本町で新たな生活をスタートさせる若者世帯等を対象として、賃貸住宅の所有者に支払う家賃の一部を助成し、本町での新たな生活を支援することで更なる移住促進を図ります。

《事業概要》

○対象者

- ・ 平成29年3月18日以後に転入した町外移住者のうち、40歳未満の単身世帯又は夫婦どちらかが40歳未満の世帯
- ・ 町内外問わず、結婚1年未満で夫婦どちらかが40歳未満の世帯

○対象要件

- ・ 月額家賃が3万円以上（住宅手当等を差し引きした後の自己負担額）の民間賃貸住宅に入居した世帯。
- ・ 賃貸住宅に住所を有した日から3年以上、沼田町に住む意思がある方 など

○補助率

- ・ (契約月額家賃－勤務先等からの住宅手当等) × 20%

○補助期間

- ・ 申請から1年間

■ ライフパートナー探し応援事業【拡大】 ■

結婚について前向きに取り組む意欲ある希望者に対し支援を行い、結婚から子育てまで一貫した「切れ目のない支援」を行うことで、地域活力・人口の維持を図ります。

《事業概要》

①個人

- ・ 対象経費：結婚相談所などの専門機関への入会金、登録料、会費、イベント参加料 など
- ・ 助成額：60千円（限度）

②団体

- ・ 「出会いの場」を提供する事業を行う団体に対し、参加する本町民一人当たり5千円を上限に運営助成します。
- ※開催される1事業について、上記①と②を重複しての交付は行いません。



■ 住んで快適暮らして満足移住定住応援事業【拡充】 ■

中古住宅取得後に行うリノベーション（改修）及び耐震改修を新たに補助対象とし、移住定住・住み替えを促進するとともに、安心・安全な住環境の確保を図ります。

区 分			現 行 交 付 額	拡 充 交 付 額
①	住宅新築	土地購入	20歳代 170万円	←
			30歳代 130万円	←
			40歳以上 50万円	←
		自己所有地	自己所有地にも上記適用	←
②	土地購入		30万円	←
			3年以内に住宅新築	←
③	町内業者での建設		70万円	←
④	融雪溝設置路線に新築		150万円（①に加算）	←
⑤	中古住宅購入		50万円（限度）	←
		※子育て世帯が取得し3年以内に改築する場合200万円以上の工事費に対して100万円を加算		※子育て世帯が取得し3年以内に改築する場合200万円以上の工事費に対して100万円を加算 【リノベーション（改修）】 ※子育て世帯が取得し3年以内に改築（リノベーション）する場合、300万円以上の工事費に対し150万円を加算 ※子育て世帯以外が取得し3年以内に改築（リノベーション）する場合、200万円以上の工事費に対し、工事費の1/4以内（限度額100万）を加算
⑥	中古住宅取壊し新築		限度額100万円（①に加算）	←
⑦	住宅リフォーム（改修費の1/4以内）		25万円（限度）	←
⑧	子育て世帯住宅新築		50万円/人（①に加算）	←
⑨	融雪施設		20万円（限度）	←
⑩	耐震改修			50万円（限度） ※改修費用の1/4以内 ※⑤及び⑦に加算

※子育て世帯とは、中学生以下の子供を養育する世帯

◆ 安心して子育てできる環境 ◆

■ 認定こども園保育料軽減【継続】 ■

平成28年度から国基準の保育料に対し「80%」の軽減拡大と多子軽減として「2人目以降無料」を行い就学前の子育て世帯の経済的負担軽減を図っています。

■ 子どもの遊び支援事業【新規】 ■

旧幼稚園舎を活用し、天候を気にせず地域の親子が気軽にふれあい交流する場を試験的に開設し、保護者ニーズに配慮しながら求められる施策の可能性を調査します。

■ 学童保育推進事業【保育時間の延長】 ■

	現 行	延長後
平 日	13:00～17:00	13:00～18:30
土 曜 日	9:00～17:00	8:00～18:30
夏休み・冬休み	9:00～17:00	8:00～18:30

※今年度より全就学児童が平日も含めて利用可能となりました。



◆いくつになっても安心して暮らせる環境◆

■ 暮らしの保健室（健康相談）開設【新規】 ■

町民のみなさんと車座で健康に関する情報発信としての健康教育、個別の相談助言を行い「健康不安」「生活習慣病の悪化」を防ぎ、いつまでも元気にいきいきと暮らしていただけるようお手伝いします。（10月以降）

《事業概要》

- ・開設場所 地域密着多機能型総合センター（暮らしの安心センター）
- ・開催回数 月2回程度

■ 健康機械器具導入【新規】 ■

町民のみなさんの健康増進を図るため地域密着多機能型総合センター（暮らしの安心センター）に健康器具を導入し、自分の体力に合わせて自由に利用していただけるようにします。（10月以降）

《導入・利用概要》

- ・導入機器
トレッドミル（ランニングマシン） 3台
ライフサイクル・リカレント（バイク） 2台
- ・利用時間
月～土 17:00～20:00
日 9:00～17:00



■ モービルMRI「脳の健診」【新規】 ■

大型トレーラーに搭載したMRIにより町内で「脳の健診」を実施し、脳血管疾患の発見のきっかけづくりを行います。

《事業概要》

- ・対象 20歳～74歳の方（加入健保は問いません）
※前年度の特定健診の結果、特定保健指導が必要と判定された方を優先します。
- ・費用 1人5,000円の内3,000円を助成（生活保護・非課税世帯・70歳以上は無料）

■ 肺ドック健診助成【新規】 ■

より一層の肺がんの早期発見に努めるため町立沼田厚生クリニックで「肺ドック」を受ける方に費用の助成をします。

《事業概要》

- ・対象 40歳～74歳の方（加入健保は問いません）
- ・費用 1人10,800円の内5,800円を助成（生活保護・非課税世帯は無料）

◆活力あふれる「ぬまた」◆

■ 商業コミュニティ中核施設整備事業補助【継続】 ■

平成27年度に実施設計に着手した中核施設整備事業ですが、平成29年4月の仮オープン・10月のグランドオープン（予定）に向けて、今年度は外構工事・初度備品整備が計画されており、町内購買環境を守るとともに町民コミュニティの中核施設として地域の活性化を図るため実施主体に対し事業補助を行います。

■ 中小企業経営安定化維持・商店街活性化事業【継続】 ■

景気回復の兆しはあるものの、依然地方経済を取り巻く環境は厳しい状況にあることから、商工会が主体となって経営安定化の維持、商店街の安定化を図る事業に対し助成を行います。

《主な事業概要》

- 事業内容 消費者が買い物しやすい環境整備、サービス、連携による取組など
- 事業主体 沼田町商工会

◆ 魅力あるぬまた農業へ ◆

■ 農業所得向上対策事業【制度統合・拡充・新規】 ■

従来の事業を統合、助成対象を拡大し沼田農業の持続的発展を目指します。

事業区分	補助率	限度額
新規作物・園芸作物導入支援	8割以内	1,500千円
【新規】園芸作物の増棟支援	1/3以内	300千円
新規作物等導入支援	1/2	450千円
雪中ブランドづくり支援（雪エネルギー導入支援）	8割以内	1,500千円
就農・婚姻後10年未満の後継者支援	8割以内	1,500千円（園芸作物増棟）
【拡充】新規作物・園芸作物増棟支援	8割以内	1,500千円（後継者の配偶者）
高収益作物の生産拡大（外部労働費支援）	5割以内	100千円（花卉・野菜を新規栽培・増棟）
農業生産技術等導入実証費助成事業	5割以内	500千円（現地実証実験に要する経費）
【拡充】農業機械に関する経費（リース・以外以外の購入）は耐用年数で割り返した1年当たりの額を助成		
法人化設立経費対策（1戸1法人化も対象）	1/2以内	1,500千円（1戸1法人は出資金対象外）
法人及び協業組織による機械購入費支援	1/3以内	5,000千円（2戸以上の構成員）
既存法人のネットワーク活動支援	定額	200千円（既存法人の連携による研修事業等）

◆ たしかな学力・体力 教育環境の充実 ◆

■ 沼田学園推進事業【拡充】 ■

小中学校を合わせた「沼田学園」の平成30年度からの実施に向け、小中9年間の学びを円滑に接続しながら学力の向上を目指して子ども個々の発達段階を踏まえたきめ細やかな指導に取り組みます。

《拡充概要》

- ・小学生のNRT標準学力検査（相対評価）の実施
- ・hyper-QUの新規導入（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）
- ・外国語指導助手の常勤
- ・漢字検定の対象拡大 小4～6 → 小1～6・中1～3



■ 体力向上対策事業【継続】 ■

運動が「得意」か「不得意」かは概ね5～8歳で決まると言われており、「得意」になるには走る・飛ぶといった運動が「できる・好き」になる事が重要であり「コーディネーショントレーニング」を専門家の指導により実施し体力向上を図ります。

また、町健康運動指導士も必要に応じて指導を行い、より効果が発揮できるよう「学校・専門指導員」が連携して実施します。

※毎月1回（年12回）

北海道視察団との意見交換

4月10日(月) 自由民主党の地方創生実行統合本部(河村建夫本部長:衆議院議員)は、地方創生を実現するため多方面にわたり地域の声を聴き政策に反映させることを目的として全国視察を行っています。

今回は、中山間地域に暮らす地域住民から様々な意見を聴き、必要な支援を検討する為、河村本部長を合わせ3名と地元北海道の渡辺孝一衆議院議員、野原薫北海道議会議員、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局職員が本町を訪れ、山岡禎弘(尚H



▲小学6年生の授業風景を視察

Y)さくら代表取締役ら7名が町を代表して、「中山間地域の農業」「農協改革の見直し」「後継者不足による農地流動化への課題」「鳥獣被害対策」「JRを含めた住民の交通手段の確保」など基幹産業である農業を中心に本町の現状や課題を伝えました。

河村本部長は「沼田町は総合戦略を策定して大変頑張っている姿を実感した。JAも協力して新しいテナントに入り一緒に商業施設を行うという新しい形態。小学校でも、素晴らしい校舎で子どもたちが伸び伸びとお勉強している姿を見て、沼田町が地方創生を十分活用して頑張っている姿を拝見した。今回は農業に関して地方創生の観点からどのように取り組んで良いかと貴重なご意見をいただき今後の地方創生に活かしていく。」と話されました。



▲左から福井事務総長、河村本部長、谷事務局長



▲商業施設を視察

【参加者】

地方創生実行統合本部

- 本部長 河村建夫 衆議院議員
- 事務総長 福井 照 衆議院議員
- 事務局長 谷 公一 衆議院議員

沼田町

- 沼田町長 金平嘉則
- 有限会社H J Y さくら代表取締役 山岡禎弘
- 有限会社ウイング取締役 黒田洋一
- 沼田土地改良区理事長 岡田聖人
- 中部地区 野田真実
- 沼田町商工会長 吉住淳男
- 自由民主党沼田支部長 高田 勲

町民ふれあい懇談会（平成29年3月22日～25日）

皆様のご参加ありがとうございます。

平成28年度の「町民ふれあい懇談会」を3月22日から25日の間、恵比島地区を皮切りに北竜地区、共成地区、市街地区で開催しました。

各会場とも貴重なご意見をいただき、今後の町政に反映させていただきたいと考えております。今月号では、町民ふれあい懇談会にて皆様方からいただいたご質問・ご要望を抜粋して掲載します。

①商業コミュニティ中核施設について

Q. 商業施設ではJAカード、ララカードは使用可能ですか。JAカードが使用できなかった場合ポイントはどようになりますか。

A. JAカードの使用はできません。ララカードは使用可能です。JAカードのポイントですが、Aコープが閉店する前に処理していただきたいという話だったと思いますが、明確な確認をとってなかったのが、会議などで周知をしてもらうようお願いしておきます。

Q. 仕入れの業態はどうなっていますか。

A. バックヤードを持たないで、アークスやBIG HOUSEと同じように日に3回ほど、沼田にも配送してもらう形です。

②医療・子育てについて

Q. 厚生クリニックの医者・看護師の人数について、人口が同じくらいの市町村と比較したときに適正なのでしょうか。

A. 厚生連の基準で配置しております。2科（内科・皮膚科）体制では最低限必要な人数だと認識しています。

Q. 想定患者数が1日何人かはわかりませんが、おそらく朝に集中すると思われるので、路上駐車とかにはならないよう交通整備をしっかりとしてほしいと思います。

A. しっかりと対応して参りたいと思います。

Q. 深川市立病院に小児科がなくなったことによって、子供が入院となった時、旭川市や滝川市の病院に入院するしかなく、親の負担が大きい。深川市立病院に小児科を配置して欲しい。

A. 道北地域など医者のいない僻地に優先して配置されているのが現状で、深川市立病院に配置されるには時間がかかる状況ですが、継続して要請していきます。

③町営バスの再編について

Q. バスの停留所ですが、役場にも郵便局にも行けるような距離にするのではなく、その目的地に歩いて10歩くらいというのが良いのではないかと。

A. なるべくそのようにしたいと考えております。

④JR留萌線について

Q. 留萌線問題についてですが、どれだけ運動しても利用してくれる人が増えないとどうしようもない。それぞれ沿線には美味しい食べ物があるのでツアーみたいなものを組んでみたり、提案・検討をしていかなくてはいけないと思います。

A. いろいろ検討しなければならぬ点について、4月以降の1市4町でも行うと思いますので、その中で発言させていただきます。



▲恵比島活性化センターでのふれあい懇談会

先人の苦労を讀えて

北 竜地区開拓 120 年周年記念式

3 / 11

3月11日(土) 北竜第3地区において、先人の苦労に感謝する開拓120周年記念式典が執り行われました。

式典では、絵内行政区長から「120年前、我々の祖先がこの地に着き、開拓を始めた。幾度の苦難があったことが想像されます。その意思を後世まで語り継ぐのが自分達の使命です。」と述べられました。

北竜第3地区の開墾は明治29年、最初の入植者は堀要一郎氏を始めとする6名であり、越中五箇山の人達によって開拓されたことから、出身地の地名がそのまま地区名として「五ヶ山」となりましたが、昭和25年に現在の北竜第3地区と改正されました。



旭川医大の学生による

小 学校で違法薬物について授業

3 / 16

3月16日(木) 旭川医科大学 Med-Edu(メド・エデュ)に所属する学生が、小学5年生に違法薬物の危険性について授業を行いました。

Med-Eduは旭川医科大学に在籍する医学生・看護学生で構成された学生団体で、今回の授業では違法薬物が身体にもたらす悪影響について教えていただきました。

最後、実際に違法薬物が身体の中に入るとどのようなかを一人ずつ発表し「依存症となり幻覚を見たり、幻聴が聞こえたりする。」など違法薬物の怖さを学びました。



6年間の思い出を胸に

沼 田小学校で卒業証書授与式

3 / 18

3月18日(土) 沼田小学校(元木和芳校長)において、第107回目となる卒業証書授与式が執り行われ男子16名、女子12名の計28名が卒業しました。

元木校長から児童一人ひとりに卒業証書が手渡され、卒業生は「中学校では勉強と部活を両立できるよう頑張りたい」「6年間どうもありがとう」など、決意や感謝の言葉を涙を浮かべながら述べていました。

元木校長の式辞では「卒業おめでとう。今手渡した卒業証書は君たちの成長の証です。支えてくれた人への感謝と何事も諦めず挑戦する意思を持ってこれからも頑張ってください。」と述べられました。式の最後に、在校生と卒業生で呼びかけを行い、全員で「旅立ちの日に」を合唱しました。



第1回卒園式

3 / 19

認

定こども園で卒園式

3月19日(日) 沼田認定こども園(土肥芳子園長)において、第1回目の卒園式が執り行われ、10名の園児が卒園しました。

卒園児は土肥園長から卒園証書を手渡され、ステージ上で「小学校では勉強をがんばりたい」など一人ずつ小学校入学への抱負を発表しました。

土肥園長は「入園当時の頃を思い出しながら証書を渡しました。初めて先生と呼んでくれた日のことを昨日のように思い出します。たくさんの幸せをありがとう。みんながランドセルを背負って小学校に通う日を楽しみにしています。」と園児に優しく話し、金平町長は「卒園される皆さんおめでとうございます。4月から仲良く楽しく小学校に通ってくださいね。」とエールを送っていました。



今年の味は?

3 / 27

雪

なごり熟成完成

3月27日(月) 12月中旬から町生涯学習総合センターゆめっくるに併設されている雪の科学館で、原酒の長期熟成をしていた「雪なごり」が熟成期間を終え、蔵出し作業が行われました。

沼田産雪中米(きらら397)を原料として、高砂酒造が腕によりを掛けた力作4,000ℓの雪なごりは、約3ヶ月間、室温0~1℃で、湿度は80%以上の安定した状態の中で熟成されました。

蔵出し作業では、原酒を雪室内のタンクから運搬用に別のタンクに移し替え、高砂酒造へと運ばれました。

沼田小売酒販組合の小泉清彦代表は「米がいいので原酒は色も香りもいい」と話されていました。

4月15日(土)から町内酒店で販売されています。



事業の概要を説明

3 / 30

長

生クラブとの懇談会

3月30日(木) ゆめっくるにおいて、沼田町長生クラブ(松野茂雄会長)と金平町長との懇談会が行われ、金平町長から、「商業コミュニティ中核施設」「暮らしのあんしんセンター」「沼田警察署の分庁舎化」「町営バスの再編」「JR留萌線」などについて説明しました。

参加された49名の会員は、10月にグランドオープンを予定している「あんしんセンター」「商業コミュニティ中核施設」など、身近な施設の説明に真剣に聞き入っていました。



介護予防事業

高 齢者元気100倍！教室閉校式

3 / 31

3月31日（金） 昨年5月に開校した介護予防教室「高齢者元気100倍！教室」の閉校式が執り行われました。

これまで「笑いヨガ教室」や「健康運動」、食生活改善協議会による「料理教室」など、健康・栄養・教養の総合プログラムとして計18回開催し、平均26名の参加者がありました。

閉校式では、参加回数に応じたポイントが15ポイント以上となった27名の方へ金平町長から表彰状と健康グッズが手渡されました。

金平町長は「外出してこういった事業に参加して、人と話したり、笑ったりすることによって健康が保たれます。これからも元気で過ごしていただきたい。」と挨拶を述べました。



新しい体制で安心安全を確保します

深 川警察署沼田警察庁舎開始式

4 / 1

4月1日（土） 深川警察署沼田警察庁舎開始式が執り行われました。

この日から沼田深川両警察署が統合し、深川警察署が従来の1市3町に加え、新たに沼田町、北竜町も管轄することになりました。

式では吉田深川警察署長が「統合の効果を地域住民に感じていただけるよう、安心して暮らせるまちづくりに尽力したい。」と話されました。

なお、沼田警察庁舎では今後も免許の更新や、事件・事故の届出などの手続きが出来ます。



待望の新施設の完成

商 業コミュニティ中核施設の竣工式

4 / 1

4月1日（土） 町と商工会、北いぶき農協でつくる「株式会社まちづくりぬまた」（吉住淳男社長）が運営する商業コミュニティ施設の工事が完成し、関係者約40名が参加して竣工式が執り行われ、施設の完成を祝いました。

式の中で、吉住社長が「今回この施設が建設できたことは皆様のご尽力の賜物です。町民のみなさんに自分達の施設として育てていただけたらと思います。」とお礼を述べられました。



みんなと仲良く遊んでね

4 / 1

認

定こども園で入園式

4月1日(土) 沼田認定こども園(土肥芳子園長)の入園式が執り行われました。

式では、土肥園長から「お友達と一緒に遊ぶことを学び、元気に登園して下さい。」と述べられました。

新入園児18名(0歳児～5歳児)が一人ひとり紹介され、元気に返事をして、全園児70名(4月1日現在)の仲間入りをしました。

1年間、こども園生活をいっぱい楽しんで下さい。



交通安全を願って!!

4 / 4

役

場主婦の会マスコットを寄贈

4月4日(火) 役場主婦の会(金平智子会長)が、春から沼田小学校に通う新一年生の交通安全を祈願して「カエルのマスコット」を手作りで作成し、金平会長から疋田博和校長に手渡されました。

このカエルのマスコットのプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として毎年行っているもので、金平会長は「子どもたちが無事に通学できるように願いを込めて作りました」とマスコットを手渡すと、「いつもありがとうございます。子どもたちも喜んでくれると思います」と疋田校長はお礼を述べていました。

マスコットは、4月7日(金)の入学式の日(金)に新一年生に手渡されました。



無事に帰ってね!!

4 / 6

商

工会女性部マスコットを寄贈

4月6日(木) 沼田町商工会女性部(中山玲子部長)が沼田認定こども園の年長さん15名に、「安全にカエル」を願いカエルの形をした手作りマスコットを手渡しました。

園児からは「かわいい～」などの声上がり、全員に手渡された後、園児一斉に「ありがとうございます」と大きな声でお礼を伝えました。

中山部長は「15年以上、このマスコットを寄贈しています。安全に帰宅できるようにと部員みんなで作成しました。園児達が交通事故などに遭わないように願っています。」と述べられました。



創立 70 周年・統合 50 年

4 / 6

沼田中学校で入学式

4月6日(木) 沼田中学校(小川 勉校長)で平成29年度の入学式が執り行われました。

今年の新入生は男子16名、女子12名の計28名。今年には創立70年及び統合50年の記念の入学式でもあり、新入生は少し緊張した様子でしたが、担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をしました。

小川校長は、「統合され50回目の記念すべき入学式です。皆さんとは一貫連携教育で一緒に学びましたが、今日からは沼田中学校の一員です。一貫連携教育で学力を全国レベルへ近づけるよう一緒に学びましょう。」と式辞を述べられました。

新入生代表の山田千愛さんが「入学式の喜びと、中学校生活の不安がありますが、中学校生活の3年間で悔いを残さないように頑張ります。」と代表の言葉を述べました。



ピッカピッカの一年生～

4 / 7

沼田小学校で入学式

4月7日(金) 沼田小学校(疋田博和校長)で平成29年度の入学式が執り行われ、男女合わせて12名(男子7名・女子5名)が沼田小学校へ仲間入りしました。

4月から新しく赴任された疋田校長は式辞の中で「皆さんは今日から1年生です。頑張ってください。1つは挨拶、元気よく挨拶して下さい。2つ目は話をよく聞くこと、先生のお話をしっかり聞いてお勉強に頑張ってくださいね。」と新1年生に話しかけていました。

新入生の紹介では、担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。

その後、2年生が小学校生活の1年間の行事を自分達が描いた絵で紹介し、2年生から6年生で歓迎の歌を合唱して、12名の新1年生を暖かく迎えました。



今年もきれいに

4 / 10

長生クラブによる清掃ボランティア

4月10日(月) 沼田長生クラブ(松野茂雄会長)がJR石狩沼田駅の清掃ボランティアを行いました。

新年度が始まり通学や通院で深川などへの利用が増え始めることから同クラブが企画して今年で7回目の実施となります。

この日参加した35名の会員は、持参したほうきで天井の埃を丁寧に払ったり、窓をキレイに拭くなど、駅舎の汚れを落としました。

参加された会員からは、「学生さんの通学や、自分達が通院などで多くの町民が利用する場所、気持ちよく駅舎を利用して、一日でも長く存続してほしい。」と話していました。



せいら 山森星空さん全国6位入賞

旭町西在住の山森星空さん（12歳）が北海道ルスツリゾートスキー場で開催された「全日本ジュニアスキー技術選手権大会」（3月24日～26日）において、小学生女子の部で見事6位入賞を果たしました。

星空さんが出場した部門は、タイムを競う部門ではなく、滑りの技術点を競う大会で、星空さんの果敢な滑りで高得点を獲得して6位入賞となりました。

星空さんが初めてスキー靴を履いたのは3歳の時で、9歳から本格的にスキーを初めました。シーズン中は、ほぼ毎日、高穂スキー場やカムイスキーリンクスで練習をして努力を重ねてきました。

星空さんは「来シーズンはテクニカル（検定）を取得して、技術戦に出場していい成績をとりたい。将来はナショナルデモンストレーターを目指したいです。」と目を輝かせながら将来の夢を話してくれました。



第72回国民体育大会冬季大会 **ながの銀嶺国体** 男子大回転の部

長谷川祐一さん 道内勢最高順位

長野県で開催された「第72回国民体育大会冬季大会 ながの銀嶺国体」（2月15日～17日）のスキー競技会男子大回転の部で、北海道代表として出場した長谷川祐一さん（44歳 沼田スキー連盟）が、1分19秒05の好タイムを記録して119名が出場する中、北海道勢最高となる16位の成績を収めました。

長谷川さんは「今回は6年ぶりの国体出場で、8位以内の入賞を目指していた大会でしたが、トップ10の人達はレベルが高く、元オリンピック選手や今でもスキーを職業にして活躍している人ばかりで、その中

に食い込むのは非常に難しかったです。北海道代表として出場した3名の中でトップを取れたことは良かったですし、今の実力ではベストの滑りが出来ました。」と話していました。



みんなの情報 ひろば

今月号より、町内で活動している各種団体・サークル活動を支援することを目的として、会員の募集や広く全町民を対象とした行事の案内等を広報めまたの新シリーズ「みんなの情報ひろば」に掲載いたします。

※掲載のお問合せは総務財政課広報情報グループまでご連絡下さい。(TEL 35-2111)

みのや雅彦と歌う

「ときめきコーラス隊」を募集します。

羽幌町出身、シンガーソングライター「みのや雅彦」さんと、一般募集する「ときめきコーラス隊」とのスペシャル・コラボ・コンサートが沼田町で実現することになりました！みのや雅彦さんと一緒にステージで歌う喜びを感じ、沼田町での記念すべきコンサートを作ってみませんか？

合唱経験の無い方も大歓迎！男性も募集中！簡単なコーラスですので気軽に参加下さい。

- ◆公演日 6月17日(土) 15:00 開演
- ◆会場 沼田町民会館
- ◆コーラス練習日
毎週火曜日 19:00～20:00
ゆめっくる 2F第3研修室
- ◆参加費 2,000円
(コンサートチケット代含む)
※高校生以下無料
- ◆申込方法 教育委員会にある申込用紙に記入し申込下さい。
- ◆お問合せ先 みのや雅彦コンサート
実行委員会 事務局(菅原)
090-1521-8392

農業体験の受入をしてみませんか？

「元気村 夢の農村塾」から

メンバーの募集

北空知の1市4町の農業者で構成される「元気村 夢の農村塾」では、毎年約1000人の中高生の農業体験を受け入れています。農業体験や、ファームステイをしたい学校は年々増えてきていますが、受入先が少ないのが現状です。

子供達は、農村風景や地元の食べ物に、そしてもちろん人との出会いに感動して帰っていきます。

「元気村 夢の農村塾」では、私達と一緒に、日帰り農業体験やファームステイ(宿泊)の受け入れをしてくださる農家の方を募集しています。また、農家でない方にも、宿泊をお願いしたいと考えています。

興味のある方は、下記までお問い合わせ下さい。

080-6085-6853 辻 村上
memuharu@ymail.plala.or.jp

ご寄付ありがとうございました。

3月16日(木) おんがくの集い実行委員会の市橋静代委員長が役場を訪れ、11日(土)開催された「第5回おんがくの集い」の会場で出展したフリーマーケットの収益金を町へ寄付していただきました。

金平町長は「町振興のため有効に活用させていただきます。」とお礼を述べました。

また、チケット代金等で得た収益はコンサート経費を差し引いて、「日本災害復興支援特別基金」、学生ボランティア団体「みちのくキッズ」へ寄付されました。



悩みや苦情は、まず相談を

行政相談委員をご紹介します

3月31日付の任期満了に伴い、沼田町担当の野々宮宏氏が総務省から引き続き行政相談委員に委嘱されました。

行政相談委員は、行政相談委員法に基づいて、総務大臣から委嘱され、地域の皆さんの身近な相談相手として、全国に約5千人が配置されています。

委員は総務省と連携を図りながら、皆さんからの国の仕事に関する要望や問い合わせなどを聞き、公平な立場からの助言や関係する行政機関等に通知するなどの活動を行っています。

相談は無料で秘密は厳守されます。

◆定例行政相談日

- ・日時 毎月第3火曜日
〔4月～11月〕午後1時～午後4時
〔12月～3月〕午後0時～午後3時

・場所 町民会館 相談室

◆問合せ先 総務財政課広報情報グループ (Tel. 35-2111)



▲野々宮宏行政相談委員

札幌管区气象台からのお願い

春山登山や山菜取りを安全に楽しみましょう！

春山登山や山菜取りの季節がやってきました。徐々に日差しが強まり、気温も10℃を超える日が増え、大型連休もあることから趣味やレジャーで多くの人が山に入る時期となります。しかしこの時期は、残念ながら毎年のように多くの遭難者や行方不明者が出ています。

今年は例年より積雪が少ないとはいえ、まだまだ山には雪が多く残っています。気温の上昇に伴って急速に融雪が進むことから沢や小河川は増水しやすく、傾斜地ではなだれの危険があります。また、寒暖の差が激しい季節でもあるため、低気圧が過ぎた後には強い寒気が流入することによって、山岳部では冬山に逆戻りして猛ふぶきや寒さによって身動きがとれなくなることも珍しくありません。

遭難など事故に遭わないよう、次のことに注意して趣味やレジャーを楽しみましょう。

【無理のない「登山計画」を】

○計画を立てるときと出発前は気象状況や最新の天気予報を十分確認し、悪天時や天候の急変時には無理な行動を控えましょう。

○入山前には必ず登山計画書を最寄りの警察に提出し、家族にも渡しておきましょう。

【情報収集や装備を万全に】

○情報収集や緊急時のために、ラジオ、無線機、携帯電話などを携行しましょう。また、携帯電話の予備のバッテリーを用意するなど情報収集と連絡の手段を絶やさないうち注意しましょう。

○装備や服装を整えて十分な食料を用意しましょう。比較的標高の低い山や日帰り登山でも油断は禁物です。特に防寒・雨具の準備は万全にしましょう。

○山菜取りでも道に迷ったときのために、登山同様に服装や食料などのことを考えて準備しましょう。

◆問合せ先 札幌管区气象台天気相談所 Tel. 011-611-0170

後期高齢者医療制度のお知らせ

～制度の見直しについて～

■均等割 2割・5割軽減の範囲が見直されました。

●保険料均等割軽減のうち、2割・5割軽減に係る所得判定基準が、次のとおり見直されました。

【平成28年度】

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合
33万円 + (26万5千円×世帯の被保険者数)	5割軽減
33万円 + (48万円×世帯の被保険者数)	2割軽減

【平成29年度から】



所得が次の金額以下の世帯	軽減割合
33万円 + (27万円×世帯の被保険者数)	5割軽減
33万円 + (49万円×世帯の被保険者数)	2割軽減

■所得割の軽減割合が見直しされました。

●保険料所得割軽減の割合が、次のとおり見直しされました。

【平成28年度】

所得が次の金額以下の方	軽減割合
所得から33万円を引いた額が58万円以下の方	5割軽減

【平成29年度から】



所得が次の金額以下の方	軽減割合
所得から33万円を引いた額が58万円以下の方	2割軽減

■被用者保険の被扶養者だった方の軽減割合が見直しされました。

●この制度に加入したとき、被用者保険の被扶養者だった方の軽減割合が、次のとおり見直しされました。

【平成28年度】

区 分	所得割	均等割
被用者保険の被扶養者だった方	かかりません	9割軽減

【平成29年度から】



区 分	所得割	均等割
被用者保険の被扶養者だった方	かかりません	7割軽減

▼ 所得の状況により、均等割の軽減割合が9割、または8.5割に該当することがあります。

◆保険料の計算方法（平成29年度）

●保険料額は、被保険者が等しく負担する「均等割額」と、所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。

$$\begin{array}{rcl}
 \text{均等割} & & \text{所得割} & & \text{1年間の保険料} \\
 \text{【1人当たりの額】} & + & \text{【被保険者本人の所得に応じた額】} & = & \text{【限度額57万円】} \\
 49,809円 & & (\text{平成28年中の所得} - 33万円) \times 10.51\% & & (\text{100円未満切捨て})
 \end{array}$$

※年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

■高額療養費の自己負担限度額が見直しされます。

- 高額療養費の自己負担限度額が、平成29年8月から次のとおり見直しされます。

区 分		1か月の自己負担限度額（※1）	
		平成29年7月まで	平成29年8月から
現役並の所得者	外来〔個人単位〕	44,400円	57,600円
	外来＋入院〔世帯単位〕	(医療費総額-267,000円)×0.01+80,100円（※2）	(医療費総額-267,000円)×0.01+80,100円（※2）
一 般	外来〔個人単位〕	12,000円	14,000円（※3）
	外来＋入院〔世帯単位〕	44,400円	57,600円（※4）
住民税非課税世帯	区分Ⅱ	外来〔個人単位〕	8,000円
		外来＋入院〔世帯単位〕	24,600円
	区分Ⅰ	外来〔個人単位〕	8,000円
		外来＋入院〔世帯単位〕	15,000円

- ※1 月の途中で75歳の誕生日を迎えることにより加入する方（障害認定で加入する方は除く）は、加入した月の自己負担限度額が1/2に調整されます。
- ※2 多数該当（過去12か月に3回以上世帯単位における高額療養費の支給に該当し、4回目以降の支給に該当）の場合の自己負担限度額は44,400円です。
- ※3 1年間（8月1日から翌年7月31日まで）の外来の自己負担額合計の限度額が144,000円となります。
- ※4 一般区分においても多数該当（※2）が設定されます。

■入院時生活療養標準負担額（居住費）の金額が見直しされます。

- 療養病床に入院したときの居住費が、平成29年10月から見直しされます。

【平成29年9月まで】

区 分	入院時生活療養費
以下のいずれにも該当しない者	1日につき320円
厚生労働大臣の定める者（指定難病患者を除く）	1日につき0円
指定難病患者	1日につき0円
老齢福祉年金受給者	1日につき0円

【平成29年10月から】



区 分	入院時生活療養費
以下のいずれにも該当しない者	1日につき370円
厚生労働大臣の定める者（指定難病患者を除く）	1日につき200円
指定難病患者	1日につき0円
老齢福祉年金受給者	1日につき0円

問い合わせ先 保健福祉課 保険グループ（35-2120）



沼田消防団に新しい3名のチカラが入団

沼田消防団では4月1日付けで入団した3名の新入団員に、大原団長から辞令が交付しました。「人口が減少する中、入団された3名の若い力で地域防災にご尽力をいただき、町民の安全安心の確保のため努力願います。」と訓示があり、真剣に聞き入っていました。

新入団員

- 野上 尚弘 (第1分団)
- 中村 一步 (第2分団)
- 加藤 勇樹 (第2分団)

第2分団人事異動 (4月1日 昇格)

- 部長 澤田 彰
- 班長 大堀 英彰



▲左から 澤田部長、大堀班長、野上団員、中村団員、加藤団員

地域の防災ボランティア 消防団員募集

消防団は普段、自分の職業を持ちながら、災害時に消火・防災活動、避難誘導、警戒活動など地域のみなさんの安心・安全を守っています。しかし現状は、消防団員数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいることから、消防団員の確保に問題を抱えております。

安心して暮らす為には、町民の協力はもちろん、地域に住み、地域を知っている消防団員のチカラが必要です。沼田消防団ではあなたのチカラが必要です。

入団資格

- ①沼田町に居住し、又は勤務する者
- ②年齢18歳以上の者
- ③身体強健な男性
- ※入団に関してのお問い合わせ先
沼田消防支署 消防団係まで
TEL 35-2050

消防団の主な行事・活動

- 4月 春の火災予防運動
- 7月 沼田消防演習
- 9月 沼田消防合同訓練
- 10月 秋の火災予防運動
- 1月 沼田消防出初式



大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『後にしよう その油断が 火事になる』





春の地域安全運動 みんなで築こう、安全で安心な大地

- 5月11日から20日までの10日間、「春の地域安全運動」を実施します。
- オレオレ詐欺に注意！息子や甥を騙り「会社のお金を入れたかばんが盗まれた」などと言って、お金を要求してきたら詐欺です。
- 架空請求詐欺に注意！「サイト料金が未払いです。電子マネーを購入し、カード番号を教えてください」と言われたら詐欺です。

悪徳商法の被害にあわないためのキーワード 「悪質業者は、う・そ・つ・き！」です

- 『【う】まい話は信用しない！』の《う》
うますぎる話、絶対もうかる話などといったものには、大きな落とし穴がつきものです！
- 『【そ】うだんする！』の《そ》
ひとりで悩んだり、判断したりせず、家族・知人・相談機関に相談を！
- 『【つ】られて返事をしない！すぐに契約しない！』の《つ》
悪質業者は、言葉巧みに「すぐに契約をするように」迫ってきます！
- 『【き】っぱり！ はっきり！ 断る！』の《き》
あいまいな返事はせず、キッパリ！ ハッキリ！ 断る！
*不安になったり、被害にあってしまったときには、警察本部若しくは警察署の相談窓口へ

自転車の安全利用の促進 自転車も「クルマ」です！

自転車はとても便利で環境に優しい乗り物ですが、ルールやマナーを無視した乗り方は重大な交通事故につながることもあります。正しいルールを知り、安全に自転車を利用しましょう。

【自転車安全利用五則を守りましょう】

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ⑤ 子供はヘルメットを着用

犯罪の発生状況

(平成29年3月末現在)

	空き巣	事務所 荒し	出店荒し	万引き	置き引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ	自転車盗	車上狙い	部品 ねらい	詐欺	軽油 灯油盗	その他	合計
平成29年														
平成28年				1					1				1	3

交通事故の発生状況 (平成29年3月末現在)

町内における交通事故件数

	人身事故	物損事故
平成29年	1	平成29年 11
平成28年	1	平成28年 19

町民が町外で第1当事者と
なった人身事故件数

平成29年	1
平成28年	1

沼田町一貫・連携教育の流れ《沼田学園》

生涯
学習

ゆめ
つくる

未来にはばたく沼田っ子！！

小中9年間をつなぐ一貫・連携教育の流れ《沼田学園（平成30年4月開設）》の取組を紹介します。この1年を充実させ、進化・発展をめざします。今後ともご理解、ご協力下さいますようお願いいたします。

↑	中学3年生	自分らしい学びを深める期 ○充実・発展
	2年生	
	1年生	学びを広げる期 ○習熟・接続
	小学6年生	
	5年生	
	4年生	学びの基礎をつくる期 ○基礎基本
	3年生	
	2年生	
	1年生	

【合同行事】

小中一貫連携の息吹が随所に感じられます。

- ・合同運動会
- ・小中合同夜高あんどん祭り
「はね踊り」



【乗入れ授業】

中→小（毎週、小6理科・音楽・算数
小5.6外国語）
小→中（週1回TTとして）

【中学校登校】

小6児童が年間10回中学校で学習活動を展開し、学びを広げます。



ふれあい information

赤ちゃんの健やかな誕生を願って…

風しんワクチン予防接種費用を助成しています。

「風しん」ってどんな病気？

春先から初夏にかけて流行しやすく、感染者の咳やくしゃみ等により感染し、2～3週間後に発熱、発疹、リンパ節の腫れが起こります。大人になってからかかると重症化しやすく、特に妊娠初期の女性の場合、胎児の耳や目、心臓などに障がいが生じる先天性風しん症候群の危険性が高くなります。

職場が原因で、妊娠初期の女性がかかってしまう恐れがあります。妊娠予定の方、その配偶者の方、さらに周囲の方々には是非風しんワクチン接種をご検討下さい。

対 象：1990（平成2）年4月1日以前に生まれた方

（幼児期に未接種または1回接種のため、風しん抗体が不十分な世代です）

方 法：事前に医療機関へご予約の上、受診してワクチンを接種して下さい。

持ち物 健康保険証（住所地の確認のために必要です）

費 用 全額助成（窓口支払いはありません）

委託医療機関 深川市立病院・津田こどもクリニック・東ヶ丘病院・たかはし内科消化器内科・児島医院・妹背牛診療所・北竜町立診療所・秩父別町立診療所
※上記医療機関以外で接種された場合は、予防接種費用を1度自己負担して頂いた後、役場保健福祉課にて払い戻しが可能です。あらかじめお問い合わせ下さい。（Tel 35-2120）

保健福祉課健康グループ ☎ 35-2120【担当：三田・小木】

『こころの疲れにはコレ！』



新年度が始まって1か月。新しい生活にもそろそろ慣れてきた頃、なんとなく憂鬱な気分になったりやる気がでなかったりと、こころが疲れてしまう方も多いと思います。

そこで今回は、こころの疲れ解消にぴったりの本を紹介します。最初に紹介するのは『こころの疲れ 解消ハンドブック』です。普段見落とししがちな疲れた時のサインや、落ち込んだ時・イライラした時などの解消法がいくつも紹介されているので、自分に合った解消法が見つかるはずです。

次に紹介するのは、『のほほん風呂』です。コミックエッセイで人気の「たかぎなおこ」さんが書いた“家で簡単に季節の湯を楽しむ”ための本です。ちょっと疲れてしまったという時はゆっくり入浴するのも効果的なので、ぜひ参考にしてみてください。

最後に紹介するのは『水曜日に「疲れた」とつぶやかない50の方法』です。仕事をスムーズにこなしながら上手に休みを取る方法などが載っています。毎日の仕事に疲れたら、本を参考にしながらやり方を変えてみるのも効果的です。

この他にも、図書館には気分転換になるような本が揃っています。図書館に立ち寄った際は、ぜひ紹介した本を手にとってみてください。

新刊図書

《一般書》

花を呑む	あさのあつこ
駒姫 三条河原異聞	武内 涼
キリカ 恐怖小説	澤村 伊智
やまと錦	村木 嵐
悪玉	鳴海 章
一〇一教室	似鳥 鶏
古墳時代美術図鑑	古谷 毅
わが子に会えない	西牟田 靖
認知症かな？と思ったらすぐ読む本	朝田 隆
パソコンのしくみがよくわかる本	丹羽 信夫

《児童書》

走れ!! 機関車	ブライアン・フロッカ
おむかえパパ	ナディーヌ・ブランコム
かまくらレストラン	真珠 まりこ
ゆっくりおでかけ	五味 太郎
トマとエマのとどけもの	大庭 賢哉
なりたて中学生 初級編	ひこ・田中
ぐるぐるの図書室	まはら 三桃
しんけんしょうぶ だるまさんがころんだ	武田 美穂

新刊図書おすすめ!!

『騎士団長殺し』

村上 春樹



その年の五月から翌年の初めにかけて、私は狭い谷間の入り口近く、山の上に住んでいた。孤独で静謐な日々であるはずだったのだが、騎士団長が頭れ…。

『1Q84』から7年、待ちかねた書き下ろし本格長編。

『なんでもいっばい大図鑑』

ピクチャーペディア

スミソニアン協会



あらゆるテーマがギュッと詰まった、世界で一番美しい百科図鑑 日本上陸!

1万点のカラー写真で158のテーマを解説!

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

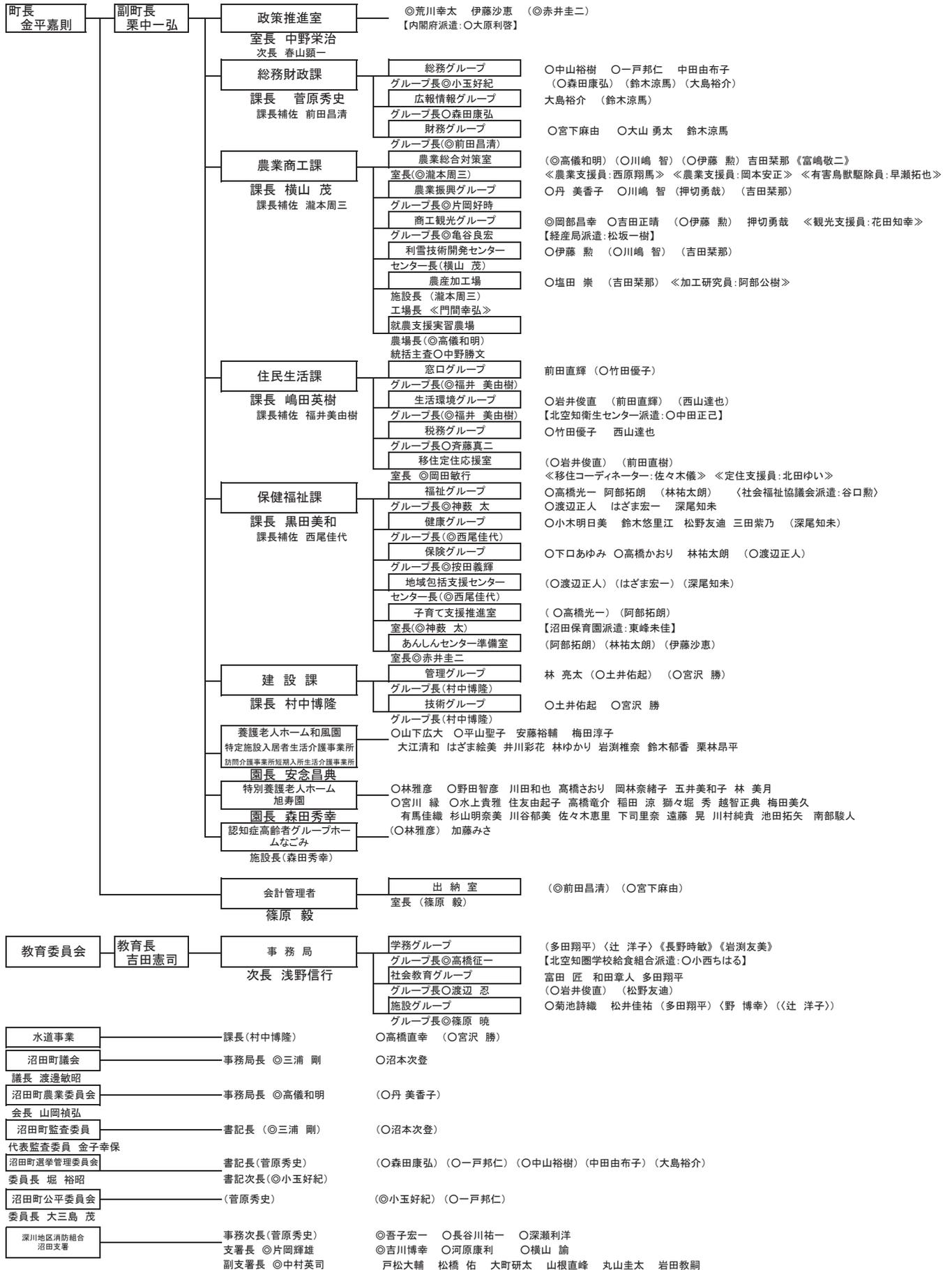
<http://blog.canpan.info/numakyoui/>

【沼田町機構図】

平成29年4月1日現在

- ◎主幹
- 主査・主任
- () 兼務
- < > 再任用職員
- 《 》 非常勤職員 地域おこし協力隊等
- 【 】 派遣

沼田町役場機構図



ただ しょうへい
多田 翔平



所 属：教育委員会
出身地：滝川市
趣 味：バスケットボール・釣り
抱 負：新しい環境に慣れ早く沼田町の方々のお役に立てるよう頑張っています。よろしくお祈いします。

新規採用職員の紹介

4月より沼田町役場で勤務しています、5名の新規採用職員を紹介します。

いとう さえ
伊藤 沙恵



所 属：政策推進室 兼
保健福祉課あんしんセンター準備室
出身地：札幌市
趣 味：絵を描くこと
抱 負：仕事にも生活にも早く慣れることができるように頑張ります。

わだ あきひと
和田 章人



所 属：教育委員会 社会教育主事
出身地：札幌市
趣 味：映画・音楽鑑賞
抱 負：ここ沼田町で一日も早く、お役に立てるよう頑張りますので、よろしくお祈いします。

まつい けいすけ
松井 佳祐



所 属：教育委員会 学芸員
出身地：沼田町
趣 味：読書
抱 負：沼田町の事を今まで以上に勉強し、出来る事を増やし、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

なんぶ はやと
南部 駿人



所 属：旭寿園 介護士
出身地：新十津川町
趣 味：料理・スポーツ
抱 負：町民の方や利用者の方に信頼されるような町職員になれるよう頑張ります。

移住定住応援室に新しい仲間

新しく定住支援員に任命した「北田ゆい」さんをご紹介します。

北田さんは深川市生まれ、深川の高校を卒業した後、旭川市のデザイン学校に進学し、卒業後は旭川市内のデザイン会社に6年間在籍した後、本町の定住支援員に任命されました。

北田さんは「デザイナーの経験を活かして沼田町の良いところを発信したい。」と抱負を述べていました。



人の動き

(平成29年4月3日現在)

人口	3,172人	(前月比)	△13人
男性	1,501人	(前月比)	△8人
女性	1,671人	(前月比)	△5人
世帯数	1,519世帯	(前月比)	△6世帯

■総人口増減内訳

増加) 転入: 20人 出生: 1人
減少) 転出: 1人 死亡: 7人

交通事故死ゼロ

(平成29年4月27日現在)

1,754日継続中!!

出生	出生	出生	出生	出生
村中亜偉琉くん	池田彩菜ちゃん	池川碧人くん	紅露武士くん	出 生 児
4月11日	4月5日	3月28日	3月18日	誕生月日
翔太さん・美咲さん	透さん・あかねさん	卓也さん・晴美さん	智尚さん・沙奈恵さん	両親の名前

うぶごえ

氏名	死亡月日	年齢	住所
齋藤 春雄さん	3月18日	89歳	市内5
佐藤 守さん	3月19日	81歳	市内1
篠永 春夫さん	4月1日	81歳	東予
大沼 昭伍さん	4月9日	78歳	緑ヶ丘
福永 輝雄さん	4月14日	75歳	市1東

おくやみ

〜広報担当のしづなき〜

気温も暖かくなって、もう少しで桜の時期となります。

桜で思い出すのは、田島公園の桜ですね。自分が役場に入りたてのころ、田島公園祭りがありまして、初めて皆さんの前で、「勝手にしやがれ」を歌ったことが思い出されます。

さて、広報担当となって一年がたちました。そろそろ紙面を一新したいと考えておりますが、中々タイミングが……。近いうちに一新したいなと考えておりますので、しばらくお待ち下さい。

広報情報グループ (森田)

Cover 一表紙の写真



沼田小学校で開催された入学式での一コマ。
新1年生と親子との集合写真です。
【4月7日撮影】